

## 塞翁が馬 (中国の古い話)

昔、中国の北の国境の近くに、塞翁というおじいさんがすんでいました。  
ある日、おじいさんの馬が、国境をこえてにげてしまいました。近所の人々がなぐ  
さめに来ると、おじいさんは言いました。「これが、よいことにならないとはかぎ  
らないよ。」

何か月かたつと、にげた馬が、りっぱな馬をつれて帰ってきました。人々がおい  
わいに来ると、おじいさんは言いました。「これが、悪いことにならないとはかぎ  
らないよ。」

しばらくして、おじいさんのむすこが、その馬から落ちて、足のほねをおってし  
まいました。それでも、おじいさんは「これが、よいことにならないとはかぎらな  
い。」と言いました。

一年後、戦争が起こり、村のわかい男たちは、みな兵隊としてつれていかれまし  
た。けれども、むすこは足のけがのため、行かずにすんだのです。

この話から、人生のよいことや悪いことは、先まで分からないという意味で、  
「塞翁が馬」と言うようになりました。

1

にげた馬は、何をつれて帰ってきましたか。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

2

むすこが足のほねをおったとき、おじいさんは何と言いましたか。

ア これは、とても悪いことだ。

イ これが、よいことにならないとはかぎらない。

ウ もう馬にはのるな。

3

できごとの順に、□に1・2・3を書きましよう。

|  |
|--|
|  |
|--|

むすこが馬から落ちる。

|  |
|--|
|  |
|--|

馬がにげる。

|  |
|--|
|  |
|--|

馬が、りっぱな馬をつれて帰る。

4

「塞翁が馬」の意味に合うものに、○をつけましよう。

ア 人生のよいことや悪いことは、先まで分からない。

イ 馬は大切にしなければならぬ。

ウ おじいさんの言うことは聞くべきだ。